



海技士教育科海技専攻課程
海上技術コース（航海専修）
（機関専修）

Marine Technique Course
(Advanced Navigation Class)(Advanced Engineering Class)

定員・受験資格・
募集要項等はコチラ



コースの特長

海技士としてさらなる高みを目指して

海上技術短期大学校専修科の教育を修了した者がより上級の教育に進むことができる課程です。基本教育から高度な教育までの一貫教育を実施することにより、資格教育の充実・強化を図ることを目的としています。

登録船舶職員養成施設(三級海技士(航海・機関)第一種養成施設)として、三級海技士になろうとする者に三級海技士として必須の知識や技能の定着を図るとともに、運航現場に早期に対応できるよう、実践的な知識・技能の習得を目標とし、多岐にわたる能力の強化を図ります。

基礎力の向上
演習・実習

英語力の
向上

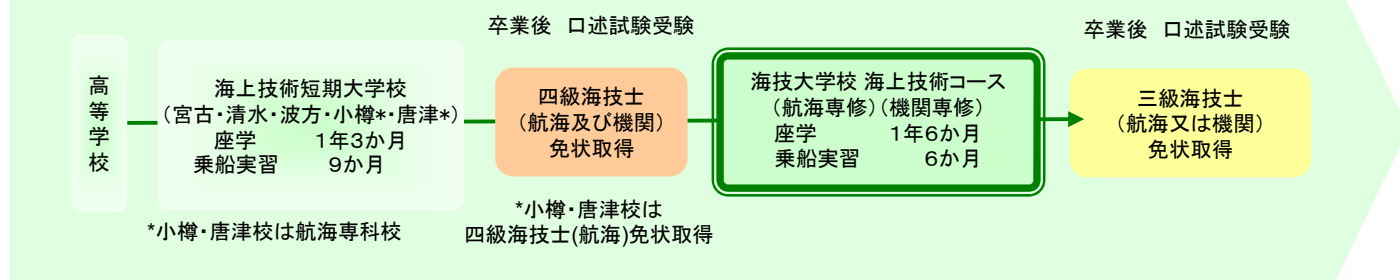
総合実習
マネジメント
関係科目

調査
文書作成
プレゼン能力

トラブル解決
能力
積極性涵養

リーダーシップ
コミュニケーション能力

カリキュラム

**Point!**

- ・「座学」及び「乗船実習」の組み合わせ。
- ・座学期間中は校内練習船やシミュレータ及び各種訓練機材を活用し、実践的な授業を行います。
- ・併せて免許講習(上級航海英語講習又は上級機関英語講習)及びECDIS講習(航海専修のみ)を受講します。
- ・乗船実習中にGMDSS認定新規訓練(航海専修のみ)を受講します。

〈卒業後の特典〉

- ・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験の筆記試験が免除！
- ・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験（口述試験）受験のための乗船履歴が付与されます！

航海専修コース				機関専修コース			
航海学Ⅰ*	船舶工学Ⅱ*	海事法規*	上級海上無線演習	ボイラⅠ*	熱力学*	機関英語演習	ディーゼル・ガスタービンⅡ
航海学Ⅱ*	航海力学*	法規演習	航海数学	蒸気タービンⅠ*	力学・流体力学*	機関実務英会話Ⅰ	蒸気タービンⅡ
航海学演習*	航海当直*	海事英語基礎Ⅰ	船舶力学	ディーゼル・ガスタービンⅠ*	材料工学*	機関実務英会話Ⅱ	補機・甲板機器Ⅱ
レーダーARPAシミュレータ 航法実習*	海洋気象*	海事英語基礎Ⅱ	総合実習*	推進装置*	造船工学*	情報処理*	電気・電子機器
航海計器*	操船論*	海事英語講読Ⅰ	海運特論	補機・甲板機器Ⅰ*	製図*	基礎数学	制御工学Ⅱ
電波工学*	載貨論*	海事英語講読Ⅱ	運用実習	電気工学*	執務一般Ⅰ*	工業数学	機関室シミュレータ 実習Ⅰ*
航海計器実習*	船舶安全*	海事英会話Ⅰ	運用特論	電子工学*	執務一般Ⅱ	工業化学	機関室シミュレータ 実習Ⅱ
制御工学*	船舶衛生*	海事英会話Ⅱ	海技実習	制御工学Ⅰ*	海事法規*	海運特論	学内船舶実習
計器演習	運用演習	船員実務英会話	船舶安全演習	計測工学*	船舶衛生*	安全管理システム	機関実務教育実習
船舶工学Ⅰ*	航海法規Ⅰ*	通信英会話	安全管理システム	燃料・潤滑油*	機関英語基礎	ボイラⅡ	特別研究
	航海法規Ⅱ*	GMDSS演習	特別研究				
・三級海技士（航海）第一種養成施設 必要履修科目として21単位以上（「科目名」に*） ・卒業に必要な単位は73.5単位 （JMETs大型練習船での学外乗船実習25単位を含む） ・1単位は30時間				・三級海技士（機関）第一種養成施設 必要履修科目として22単位以上（「科目名」に*） ・卒業に必要な単位は74単位 （JMETs大型練習船での学外乗船実習25単位を含む） ・1単位は30時間			

Pick up! – 特別研究 –

通称「トッケン」。

教員のアドバイスを受けながら自分の興味のある一つのテーマについて、自主的に調査・研究を行い、調査能力、文書作成能力、プレゼンテーション能力等を習得します。論文が完成した時の達成感・満足感と共に一回り大人になった自分が・・・。



海技士教育科海技専攻課程
海上技術コース（航海専攻）
（機関専攻）

Marine Technique Course
(Specialized Navigation Class)(Specialized Engineering Class)

定員・受験資格・
募集要項等はコチラ



コースの特長

一般大学等卒業後に大型船の船乗りの道へ

「4年制大学・短期大学・高等専門学校」を卒業またはこれと同等と認められる者を対象に、船舶職員となるために必要な教育訓練を行うことを目的としています。

教育訓練は座学、乗船実習及び通信教育の3種類を効果的に組み合わせた方法で進められ、2年または2年6か月で三級海技士免許の取得と即戦力の養成をめざします。

在学期間中、JMETs大型練習船において、合計12か月の乗船実習（外国への遠洋航海を含む。）があります。（社船実習船での実習が可能な場合は、うち6か月は社船実習船に乗船）

基礎・基本の
確実な定着

英語力の
向上

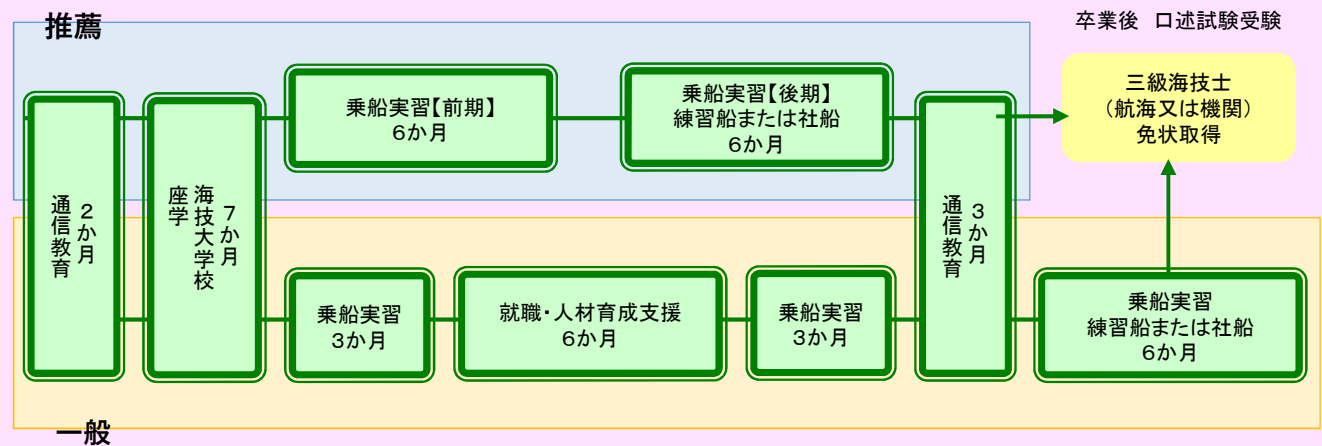
即戦力を磨く
実習・訓練

資格取得
就職支援

トラブル解決
能力
積極性涵養

リーダーシップ
コミュニケーション能力

カリキュラム

**Point!**

- ・「座学」、「乗船実習」及び「通信教育」の組み合わせ。
- ・座学期間中は校内練習船やシミュレータ及び各種訓練機材を活用し、実践的な授業を行います。
- ・三級海技士の免許取得に必要な海技免許講習*、及びECDIS講習（航海専攻のみ）を受講。

* 海技免許講習：レーダー観測者講習（航海科のみ）・レーダー・自動衝突予防援助装置シミュレーター講習（航海科のみ）
救命講習・消火講習・上級航海（又は機関）英語講習

- ・無線従事者免許の取得など、船員として必要な知識・能力の習得もサポート
- ・乗船実習中にGMDSS認定新規訓練(航海専攻のみ)を受講します。

**〈卒業後の特典〉**

- ・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験の筆記試験が免除！
- ・三級海技士（航海又は機関）にかかる海技士国家試験（口述試験）受験のための乗船履歴が付与されます！

航海専攻コース				機関専攻コース			
航海Ⅰ	運用Ⅲ	海事英語	救命講習	ボイラ	制御工学	製図	機関英語
航海Ⅱ	運用Ⅳ	ECDIS訓練	消火講習	蒸気タービン	燃料・潤滑論	執務	機関英語実習
航海Ⅲ	法規Ⅰ・法規Ⅱ	無線工学	レーダー観測者講習	ディーゼル機関	熱力学	船舶管理	機関実務英会話Ⅰ
運用Ⅰ	法規Ⅲ	無線法規	レーダーARPAシミュレータ講習	推進論	力学及び流体力学	海事法規	機関実務英会話Ⅱ
運用Ⅱ	総合学習	電気通信術		補機及び甲板機器	機関算法	機関実習	救命講習
				電気工学	材料工学	工作実習	消火講習
				電子工学	船舶工学	海技丸実習	
・三級海技士（航海）第一種養成施設必要履修科目として35単位以上（航海15単位、運用16単位、法規4単位以上） ・要卒単位90.1単位以上（内、必修科目は40.1単位、学外船舶実習50単位） ・海事英語は免許講習（上級航海英語講習）に相当 ・1単位は30時間とする ・JMETS大型練習船での学外船舶実習の単位数は50単位				・三級海技士（機関）第一種養成施設必要履修科目として35単位以上（機関32単位、執務一般3単位以上） ・要卒単位87.8単位（内、必修科目は37.8単位、学外船舶実習50単位） ・機関実務英会話Ⅰは免許講習（上級機関英語講習）に相当 ・1単位は30時間とする ・JMETS大型練習船での学外船舶実習の単位数は50単位			